

うみ の海



ここから安全を確認します

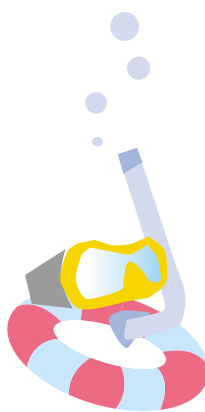


あそこが泳げる区域だよ

ライフセーバーをして
いて一番苦労すること
は、平塚海岸に来る人み
んなが、安全に海を楽し
んでもらうようにするこ
とだそうです。また、い
つも海岸をきれいにし
て、ごみを捨てにくい環
境を作っていると言っ
ていました。

ライフセーバーの人たちに、おほ
れている人を助ける訓練を見せても
らいました。すばやくおぼれている
人の場所まで行って助け出し、砂浜
で人工呼吸をします。ぼくたちは、
ライフセーバーのみなさんがいるか
ら安心して海で遊べるんだと思いま
した。

みなさんも、海に行ったら絶対に
無理をしないで、ライフセーバーの
人の言うことをよく聞いて平塚の海
を楽しみましょう。



豆記者

押川 隼也
小野寺 智史

泳げる
海
泳いでいいね

ぼくたちは、ビーチパークへ行
ってライフセーバーの伏黒さんに
平塚海水浴場のことを聞いてき
ました。

今年から平塚海岸が泳げる海
になりました。消波ブロック
を沖合いに置いたら砂が沖に流
されないようになって、遠浅で
泳げる海になりました。でも、消
波ブロックを置いた本当の目的は、



人工呼吸はこうやるんだよ



とれたての魚さかなをパチリッ!

ひらつか
平塚

ひらつかぎょこう
平塚漁港を
 探検

豆記者 熊澤 惇

ぼくが平塚漁港を取材した理由は、平塚漁港で、どんな人が何をしているか調べたかったからです。港で働く人は約二百人、ほとんどが男性です。一日にとれる魚の量は、多いときは十トン、全くとれない日もあるそうです。漁業でたいへんなことは、天候に左右されてしまうことです。天気が悪いと



体が凍りそうだあ～

船を出すことができず漁ができません。また、海は危険な場所なので、いつも安全を心掛けていると言っていました。漁港には、魚を保存する冷凍庫があります。分厚い庫の中は、マイナス四十五度の極寒の世界です。そこにカチカチに凍ったマグロがいっぱいありました。洋服に霜が付いてすこく寒かったです。次に、新しく建設された港に行きました。これ



シラス、もっと食べていいよ

から魚の水揚げをするための施設や魚を保存する冷凍庫などが建設される予定だそうです。港の近くでシラスを干している漁師さんがいて、シラスを食べさせてもらいました。塩の濃さがちょうど良く、とてもおいしかったです。今回の取材で、港で働いている人たちが、たくさんの工夫や努力をしていることが、よく分かりました。みなさんも新鮮でおいしい平塚の魚をいっぱい食べましょう。